

15

平成26年度

余剰食品を有効活用し低価格で、安全性の高い液体肥料を安定供給

同社は、熊本市及び同市周辺の食品工場などから余剰食品を収集し、麹菌を加えて発酵させた液体飼料を製造している。最新の飼料製造設備の導入により、低価格で、安全性の高い液体肥料の安定供給が可能となった。

株式会社エコの森

- 代表者／代表取締役 水田 眞
- 設立／平成24年7月
- 所在地／熊本市北区四方寄町498-1
- 資本金／2,000万円
- 従業員数／7人
- 業種／食品リサイクル飼料化事業
- TEL／096-273-7646
- FAX／096-273-7675

事業課題と申請の経緯

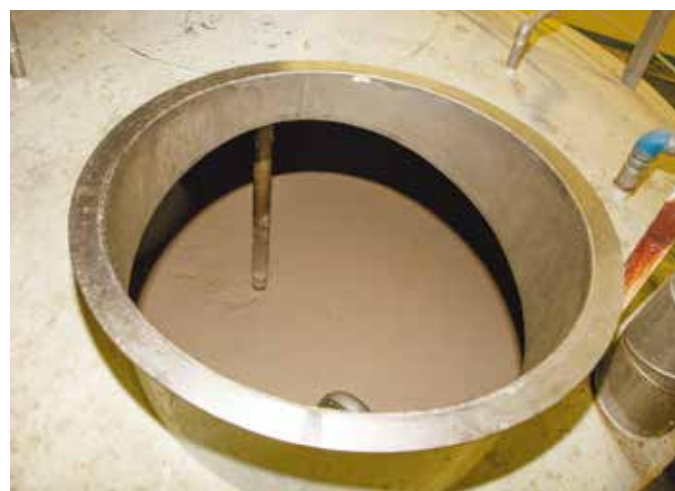
廃棄される余剰食品を有効活用したい

日本国内の食糧自給率は先進国の中で最も低く、特に飼料穀物はそのほとんどを輸入に依存している状況である。一方、食品製造業、食品流通業、外食産業等からは食品製造副産物、余剰食品、調理加工残さ等が大量に廃棄され、その多くは焼却処理されているのが現状である。こうした中、地球環境問題や資源の有効活用の面から、食品残さ

を飼料化していくことが求められていた。当社は、飼料製造を行っており、熊本市及び同市周辺の食品工場などから余剰食品を収集し、麹菌を加えて発酵させ、液体飼料を製造している。当事業では、ランニングコストの低い黒麹菌発酵方式の飼料化システム「GEN方式飼料製造設備」導入により、安全性向上と安定供給を目指した。



飼料製造設備



黒麹乳酸菌混合発酵液体飼料

課題解決のプロセスと成果

食品製造者との契約を拡大し、品質管理を徹底

飼料製造設備の導入によって①安全性確保 ②安定供給 ③価格低減の3つの課題がクリアできた。具体的に、安全性については、不適切なものを分別除去するため、排出事業者への指導を徹底するとともに飼料の病原微生物汚染防止計画を策定するなど適切な製造管理及び品質管理を実施した。安定供給については、

既存の取引業者や大手豆腐製造業者、食品製造業者と契約を結び余剰食品の回収を行った。また、価格面についても、これまで廃棄処分されていた余剰食品を原材料とするため、安価で仕入れができ、製造コストを安く抑えられ、低価格での販売が可能となった。

今後の展望

将来的には養豚業の運営も視野に

排出事業者から収集した余剰食品を、株式会社源麹研究所が「生酸性麹菌を利用した食品廃棄物の処理方法」として特許取得した源麹式リキッド飼料製造装置を導入し、安心・安全・安価な液体飼料を製造できる体制が整った。今後も、栄養価が高く配合飼料を越える液体飼料として提供したい。安心・安全・安価な液体飼料を

多くの養豚業者に提供していくため、当分の間は液体飼料の内容を充実させるとともに、多くの養豚業者にPRを行いながら市場開拓を進めていく予定。その後、事業規模の拡大に努めるとともに、将来的には立地条件の整った環境のもと、自ら養豚業を営んでいくことを目標にしている。

求める事業パートナーと支援策

畜産業振興の切り札に

養豚業は臭気対策が大きな課題となっている。当社の液体飼料を使用すると豚の排泄物に含まれるアンモニア臭などが軽減されるため、自

治体に働きかけ、畜産業振興の一助となればと考える。また、食品製造業との連携を深め、余剰食品のさらなる有効利用を進めたい。



同液体飼料を食べて育った豚は、肉質がよいと評判

食品製造会社にも
畜産農家の方にも
喜んでいただいて
います

代表取締役 水田 眞氏

